



すたが

荻田町青少年育成町民会議だより



▲11年度、福岡県健全育成ポスター
入選者表彰式に参加した皆さん



▲JR荻田駅にて、いじめストップを訴える
町民会議の皆さん(9月8日)

心豊かで
たくましい 青少年の育成を目指しましょう



オアシス運動作品(習字)と健全育成ポスター今年度児童・生徒作品より

部会紹介

生徒指導研修部会

町内全小・中学校の生徒指導主事の教員を中心としています。もともとは、京都・行橋地区の生徒指導に関する研修や情報交換、地区行事時の補導を目的としていました。それを町内独自の事業にもと結成された部会です。

一、町内や校区内の行事の補導を時にはPTAと連合して行っています。

一、補導環境部会の街頭補導に計画的に参加しています。非行防止・健全育成の研修会や講演会を合同開催しています。

一、各学校間の情報を交換し合う研修部会を年4～5回開いています。

一、以上の中から得た経験や情報を校内指導に生かすと共に、校内や校区内で指導を用する件（不審者出現など）を教育委員会へ連絡し、地域・家庭との連携強化を図っています。



非行防止・シンナー等薬物乱用防止研修会

一、平成12年7月29日(土) 18時～20時30分

一、町中央公民館第5研修室

一、町民会議委員及びその所属組織・団体の方々、PTA連合会他町民有志約百名

一、講師として 五島敏明氏

県少年課 「県内非行の実態」

南少年相談室 山手幸枝先生

「非行とその相談」



○ 映画「親たちのスクラムー子供たちの非行を防ぐ」

非行グループに仲間入りしたわが子を父親が必死になつて更生させようとして、やが

て、同グループの親・家族ぐるみで対処していく物語。

○ 県内の非行実態は全国的に見ても多い。中でもシンナー等の薬物乱用率が高い。

○ 何回もくり返す子がいる。生命の大切さは自覚しているようだが、家族間の不知、友だちづき合い、学業成績等々で行き場を失い、存在感に欠け、似た者同士でグループが形成されている。一人ひとりの自覚と共に、健全な家族・グループのあり方が問われる。

○ 質疑応答の意見交換の中から、深夜外出を黙認している保護者、補導や保護時の対応の仕方等が話題となりました。「大人が変われば子ども変わる」が重要になります。

いじめストップキャンペーン

一、平成12年9月8日(金) 16時30分～18時

一、町新開公園集合

一、町民会議委員及びその組織団体の方々、行橋警察署、両中学校々区いじめ対策協議会の皆さん総勢約80人

一、伊塚会長の挨拶後、雨が振り出し、パレードは中止に。

JR 荻田と小波瀬西工大駅前に分かれて啓発。



○ パレード前に、広報車で防止を訴えました。

○ 会長挨拶で、「いじめは非行と関わっている。いじめに立ち向かう子、いじめを見ぬき防ぐ大人でありたい」との主旨で話されました。

○ パレードが急拠中止になりましたが、参加した方々は雨にも負けず両駅前再度集合しました。そして、いじめ防止のチラシと啓発物品を配布し、いじめストップを訴えました。

町民会議・3月までの主な事業予定

12月○補導環境部会・生徒指導研究部会の合同研修会

○年末・年始特別補導

1月○(伝承) 工作教室・遊戯大会(健全育成部会)

2月○いじめ対策委員会

○各地どんと焼き特別補導

3月○春休み特別補導

○すこやか画号発行

○各部会の次年度計画

12～3月○定例街頭補導

平成12年度

「家庭の日」
「オアシス運動」
作品町内入賞者

○入賞おめでとうございます。
○よく頑張りました。

○入賞者を含めた作品は県民会議へ提出しました。
○家庭シンポジウム時（11月23日）に、次ページの健全育成ポスター入賞者と共に表彰いたしました。

賞・氏名 作 品	会 長 賞			教 育 委 員 会 賞			家 庭 部 会 賞		
	氏 名	学校	年	氏 名	学校	年	氏 名	学校	年
作 文	松 本 悠	荻中	3	中 山 温 美	荻田	3	木 村 夏 美	荻田	6
絵	原 葉 月	南原	3	井 上 かすみ	南原	3	中 村 梨 乃	荻田	3
標 語	長 坂 智佳子	与原	6	小 田 司	南原	6	江 副 友 希	馬場	6
書 道	小 野 友 輔	荻中	3	吉 武 裕 美	荻中	2	原 田 典 子	荻中	1
	ひろせ のりこ	馬場	1	岸 谷 裕 奈	荻田	1	大 津 美 歩	荻田	1
	泉 弘 幸	荻田	2	向 井 優 太	南原	2	川 内 まゆみ	与原	2
	荒 卷 千 春	荻田	3	本 崎 ま み	馬場	3	山 本 琴 恵	南原	3
	吉 田 香 純	荻田	4	下 園 由 奈	南原	4	中 村 雅 美	馬場	4
	灰 崎 昇 吾	荻田	5	中 野 瑠 美	馬場	5	橋 本 優 香	与原	5
	萬納寺 愛	馬場	6	神 崇 仁	与原	6	松 尾 麻 美	片島	6
	藤 岡 良 輔	荻中	1	後 藤 春 菜	荻中	1	井 上 陽 代	荻中	1
	金 賞			銀 賞			銅 賞		
作 文	井 堀 真 美	馬場	5	佐 藤 り な	荻田	2	渡 辺 功 治	片島	5
絵	諸 富 真 代	新中	2	中 寄 裕 太	馬場	2	安 藤 咲 希	白川	4
標 語	溝 口 勇 也	片島	5	林 裕 貴子	荻田	6	竹 井 友由恵	南原	6
	梅 林 良 行	荻工	2	上 田 正 順	荻工	2	川 崎 愛	荻中	1
書 道	増 田 有 莉	与原	1	しちだ り さ	南原	1	高 橋 恵利奈	白川	1
	鐘ヶ江 渉	馬場	2	森 由希奈	白川	2	にしもと まさや	片島	2
	麦 田 和 寿	片島	3	浅 倉 絵 美	与原	3	井 上 優 駿	白川	3
	安 藤 美 希	白川	4	田 原 和可子	与原	4	吉 梅 龍	片島	4
	小 田 葵	南原	5	村 上 直 也	片島	5	尾 形 愛 美	白川	5
	林 裕 貴子	荻田	6	金 丸 奈 央	馬場	6	徳 永 綾 乃	白川	6
	松 本 悠	荻中	3	岡 部 悠 貴	荻中	1	高 取 宜 弘	荻中	1
		佳 作							
作 文	原 田 倫 子	馬場	5	書 道					
	藤 本 優 恵	荻田	6	よしだ ま い	馬場	1	大 田 遼	荻田	5
絵	福 山 ちさと	南原	3	今 村 弘 輝	荻田	2	徳 富 理 恵	馬場	5
	渡 辺 沙由里	白川	4	中 山 新	荻田	2	木 村 光 希	南原	5
	安 藤 美 希	白川	4	上 原 菜緒子	与原	2	矢ヶ部 友 里	与原	5
標 語	木 原 早 記	南原	5	新 早 織	荻田	3	田 中 由 紀	荻田	6
	大 下 祥 代	馬場	6	有 久 昌 志	荻田	4	大 下 祥 代	馬場	6
	太 田 礼	南原	6	今 村 由里香	荻田	4	永 松 奈 美	馬場	6
	青 砥 麻 希	与原	6	上 畑 彰 大	南原	4	永 田 望	与原	6
	国 松 さゆり	与原	6	櫛 野 美有紀	与原	4	杉 原 正 恵	荻中	2
	田 中 菜津子	与原	6						

作品募集状況

○作文 小 8 中 1 計 9点
○絵 小 26 中 3 計 29点
○標語 小 118 中 232 高 13点
計 363点
○書道 小 368 中 7 計 375点

※今回は、荻田工業高校の学生からも応募がありました。

県 入 選

標語 作文 奨励賞
与小 荻小 荻小 2
6 3 3 佐藤 里奈
安田香菜美 悠 中山あつみ



平成12年度

健全育成ポスター入賞者

賞	小学1～4年生の部				小学5・6年生の部				中学1年生の部				中学2・3年生の部			
	氏名	学校	年		氏名	学校	年		氏名	学校	年		氏名	学校	年	
会長 教育委員会 健全育成 金銀銅 佳作	島野 彩	白川	3		藤村 雄大	南原	6		双原 利沙	荻中	1		松田 萌	荻中	2	
	守田 杏奈	白川	4		伊藤 彩	与原	6		宮村 大基	新中	1		梶原 友希	新中	2	
	黒瀬 眞子	白川	1		村上 直也	片島	5		本崎 恵	荻中	1		中 晋人	新中	2	
	渡辺 沙由里	白川	3		渡辺 佳央里	白川	6		高山 慧	新中	1		原田 京子	荻中	2	
	門富 早恵	荻田	4		岡野 沙織	与原	6		井上 陽代	荻中	1		柴山 明架	荻中	2	
	大迫 智奈美	白川	4		竹井 奈美	南原	5		八田 芳恵	新中	1		大 峯良	新中	2	
	渡辺 亜加里	白川	2		国田 奈緒	荻田	5		宮崎 祥平	荻中	1		原 歩美	新中	2	
	原 葉月	南原	3		愛甲 奈津美	南原	5		坂田 薫	荻中	1		鈴 木 麻央	新中	3	
	浅倉 絵美	与原	3		九十九 郁恵	馬場	6		清原 有紀	新中	1					
	林 真由美	白川	4		龍野 裕奈	与原	6		矢野 龍一郎	新中	1					
					野口 詩緒里	白川	6									

※ポスター応募状況：小学生 176点、中学生 289点、計 465点。

※上記の人たちを含めたポスターを11月26日「ごどものくに」時に、中央公民館1階ロビーに育成会連合会の方で展示いたします。



家庭の日・ オアシス運動 作文集より

「たよりにしてね」
荻小3年 中山 あつみ

「ドスン。」

重い音。台所からだ。

たおれたいすのそばに、う

つぶせたおばあちゃん。

「いーたたたたた。」

「どしたん。」

「いたた。」

そして、おばあちゃんは病

いんへ行つた。

もどつて来たおば

あちゃんの右手は、

首から白いぬのでつ

られていた。

その日からわたしはいそがし
くなった。

「あつー。」

「はい。」

おばあちゃんの着がえの手伝い。

「あつー。」

「はい。」

ろうそくの火をつける手伝い。

「あつー。」

「はい。」

お茶の葉をふくろに入れる手つ

だい。

「あつー。」

ふとんをしく手つだい。

「はい。」

「あつー。」

「はい。」

荷物を持つ手つだい。

わたしはおばあちゃんの右手

になった。

とにかくわたしは朝から夜ま

でたいへんだ。いっぱい仕事を

たのまれる。

だけどうれしい。

おばあちゃんが、わたしをた

よりにしてくれる。ちよつとお

となになった気分。

おばあちゃんの本ものの手が

なおるまで、たよりにしててね

町内小・中・高校生の標語集より

○おはようといえは広がる みんなの笑顔

○あいさつの心がだいじ いつまでも

○こんにちはひとつで変わる 街の色

○おはようは君の心に残っている

○感謝しよう 気持ちをこめて ありがとう

○うれしいなあ その一言が あったかい

○あいさつは心を伝える メッセージ

○おはようの言葉がとびかう うちの朝

○みんなの心 つなげるきずな あいさつで

○いつも オアシス 片島小

○おはようございます 言える自分に 拍手を送る

○あいさつを みんなでかわす 荻田町

○あいさつで 心と心に 橋かけよう

○家庭の日 笑顔生まれる 幸わせ日

○一日で 何回言えるか オアシス運動

○何気ない その一言が エチケット

※町民会議・家庭部会では、右記を含めた標語の中より小立看板を各学校の
周辺に設置する予定です。

(与小6年 安田香菜美)

(荻小6年 林 裕貴子)

(馬小6年 江副 友希)

(南小6年 小田 司)

(南小6年 竹井友里恵)

(与小6年 長坂智佳子)

(与小6年 青砥 麻希)

(与小6年 田中菜津美)

(片小5年 溝口 勇也)

(片小5年 倉本 愛)

(荻中3年 友野 友輔)

(荻中2年 吉武 裕美)

(荻中1年 原田 典子)

(荻中1年 川端 愛)

(荻工2年 梅林 良行)

(荻工2年 上田 正順)

ふ れ あ い

インタビュー

14

部活動紹介 その1

苅田工業高等学校

町内に唯一の高校、通称名「苅田」の先生や学生に接し、日頃の活動状況や成果などを見聞しました。頼もしい限りでした。

○硬式テニス部

部長・楠森仙也他15名
ソフトから硬式に変わり、新人戦に向け練習に励んでいます。

○バスケットボール部

部長・神崎啓二
九州大会でベスト8入り目前まで善戦。新人戦には、

○野球部

部長・百坂秀友
人間的育成をモットーに、高



(陸上部員・3年生含む)



野連主催大会に好成績を収めるべく努力しています。

○陸上部

部長・原田浩次
(フィールド) (長距離) 全国総体(インターハイ)四百mハードル出場。

全九州新人女子やり投げで堂々2位。同長距離走で決勝戦に出場。

今は駅伝やロード出場に向けて頑張っています。

○卓球部

部長・高尾将行
民間の卓球クラブと一緒に練習し、個人・団体共に県大会出場をかけて頑張っています。

○柔道部

部長・松本透
行橋京都地区武道大会団体高校の部で2年連続優勝するなど力をつけています。

○剣道部

部長・末松努他10名
毎日2時間は練習し、新人戦他に向けて頑張っています。

○サッカー部

部長・藤波聡他20名
連日2時間は熱中し、県大会出場を目標にしています。

○バレーボール部

部長・里田侑介
全国高校選抜優勝大会の県大会に出場。
北九州市民体育祭少年少女大会でベスト8入りなどで頑張っています。



○バドミントン部

部長・田村純平他22名
人数が多いので、毎日町の総合体育館で練習し、団体戦3回戦を目標にしています。

○登山部

部長・村本悠輔
年3回開催の高校連登山大会出場を目標に、知識・技術・体力づくりに励んでいます。

○空手道部

部長・原田和幸他8名
本年、同好会より昇格。新人戦男子団体組手で3位となり、県大会に出場。県では一本差で九州大会出場を逃すまでに急上昇中です。

○水泳同好会

部長・原知也
高校総体北部支部予選出場二百m・四百mメドレーで県大会へ常時出場しています。

※加藤龍二先生談

私は幼少の頃より町内の剣道場で学び、今でも時々出かけています。武道を通して体育科の教師になりました。

苅田の体育系部会生はどの部員も練習熱心で、よく頑張っていると思います。

(今回は文科系部を紹介します) 5



(バレーボール部員)

※いずれも10月の取材ですの
で、3年生は除いています。

すこやか



Q

近年、京都や新潟、そして、西鉄バス事件など不幸で特異的な犯罪も起きています。

そこで、最近の子どもをめぐる問題とその背景について知らせてください。

A

少子化傾向が進み、児童虐待などの問題が急増しています。また、引きこもりや自己中心的な若者が増えています。

大人が変われば 子どもも変わる

- 不登校：全国12万7千人（H.10）
- 児童虐待：全国6,932件（H.10）
（H.2は1,150件）
（H.12は1万件を越えたと）
（10人に1人の親認める）
- 自分の親又は配偶者の親に相談 7～8%
（以上、厚生省10年度統計）

青少年育成国民会議主催のシンポジウム（H.12年度）のまとめを中心としてお知らせします。

バイオレンス（暴力・暴行）の言葉をご存知ですか。

最近の傾向として
夫⇄妻⇄子
⇄

むかつく・切れる
器物破損（ガラス割り等）
親や友へ逆暴力
うざったい（近づくな）
引きこもる（不登校等）

つまり、大人の欲求不満⇄子どもの欲求不満⇄爆発したら、どこへ行くのでしょうか。

原因

母子カプセル・密室育児（母親一人の子育てで孤立状態）

○分かってはいるがストレス等での暴力

○他人は口をはさまないで無視・放置（幼児残して長時間外出……パチンコ等）

○親のペースに子を引き込む（深夜T・Vやカラオケ等）

○放任する。：子は自己責任を自信消失で持てない

児童虐待

○身体的―殴る・蹴る・溺れさせる・火を押しつける…。

○性的―性的行為の強要・見せる…。

○ネグレクト―（無視・放置）病院や検診に行かせない。

風呂に入れない…。

○心理的―子の前で「居ない方がよい」「生んだのが間違っている」等の発言。他の兄弟と差別する…。



虐待発生理由

○親の側の要因―ストレスを抱えている。親が幼い頃に虐待を受けた…。

○子供の側の要因―非常に頑固でカンシャク持ち。非常に要求を強く表し、それにこだわる子…。

○親子関係が要因―幼い時から放任や他人・施設等に預ける。夫婦間の不知…。

引きこもりがち

○対人恐怖群―集団生活ができない。口下手、内気…。

○葛藤回避群―他人にとやかく言われたくない。自己決定の自己責任への怖さ…。

○学業脱落群―勉強に興味・関心が湧かない…。

○無気力群―過去に優等生・周囲の期待が強かった…。

対策

○機関への連絡

児童相談所、福祉事務所、町教育相談室、児童委員…。

○家族のサポート

祖父母を中心に。ただし、干渉し過ぎないように。嫁姑問題を考慮して…。

○父親の育児参加・家庭復帰

「育児をしない男を父とは呼ばない」キャンペーンポスターあり。地域のボランティア・育成会活動・各学校のおやじの会等に参加…。

○地域の世話焼きおじさん・おばさんに

ただし、保護者の役割放棄にならないこと。子どもの家庭を邪魔しないこと。家庭の緊張関係を和ませる方向で。「みんなで育てよう 子どもの笑顔」

「よい話かんⅡ」

6

おばあさん

「おはようございます」

地域の子① シロリ

おばあさん

「おはようございます」

地域の子② 下向いて無言

おばあさん

「今日も一日元気でね」

地域の子③④⑥

自分たちのおしゃべりで無視

おばあさん

「元気で待つてらっしゃい」

地域の子⑦⑧

会釈して、行ってきます

おばあさん

「……」

地域の子⑨⑩

おはようございます

おばあさん

「気持ちいい朝ですね」

地域の子⑪⑫

ああ、おばあさん、おはようございます

うございます

昨日ね、A君とBさんが口げんかしてたから止めたのよ

おばあさん

「えらかったねえ。良い子、良い子、うれしいねえ」

編集・発行

荻田町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

☎ 434・1111 内線390